

# 会報 はるかな友

100年の絆

第20号 日本とアルゼンチン

1998. 4. 10 発行 いま新しい時代へ

1898-1998



Japón  
Argentina

100 Años de Amistad



修好100周年

## 目 次

特 集： 1 (続) 日ア関係の100周年を振り返る	2
2 日本で活躍する日系アルゼンチン人	5
特別記事： いま、なぜ、アルゼンチンか？	6
政治・経済速報	7
博物学者・文学作家ウイリアム・ハドソンと日本との関係 —ハドソン家とシンヤ家— (3)	9
第3回ペヘレイ・ツアへのご案内	11
文化行事	12
お知らせ	15
人事往来	17

社団法人 日本アルゼンチン協会

発行人 野村秀治 編集人 渡部 透

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル

電話 (3501) 4684 FAX (3595) 3932

<http://www.pinos.co.jp/country/j-arugel.htm>

## 特集1：(続) 日ア関係の100年を振り返る

野 村 秀 治

二国間の友好関係は、友好をベースに相互に何らかの貢献をする、恩恵を与える歴史的なDEFACTOの積み重ねによって成り立っている。

前回（会報第19号）は日本がアルゼンチンから受けたFAVORについて述べた。これを友好の錦のタテ糸とすれば、今回はヨコ糸である、わが国からアルゼンチンに対して貢献した事実を分析し、まとめてみた。

### 七つの象徴的な出来事（日本↔アルゼンチン編）

① 経済協力としてアルゼンチンに96年度までに総額455.38億円を援助。アルゼンチンへの主要援助国の中では、わが国がトップで41.7%（95年）つまりアルゼンチンにとっては、日本は世界最大の経済協力援助国になっている。

わが国の援助実績は、96年までの累計で有償資金協力118.31億円、無償資金協力57.14億円、技術協力実績279.93億円、計455.38億円で、情報処理研修センターの設立とソフトウェア技術者の養成、ラプラタ大学獣医学部研究計画、植物ウイルス研究計画などがある。

アルゼンチンへの主要援助国95年の実績は(1)日本：41.7%、(2)スペイン：38.0%、(3)ドイツ：20.5%、(4)フランス：9.1%とダントツである。

② テキーラ・ショックの影響をとともに受けたアルゼンチンの要請により、異例の8億ドルの緊急融資を実施し、通貨危機を救済した。

1995年、メキシコに発生した通貨危機、いわゆるテキーラ・ショックはアルゼンチンに伝播するのは時間の問題であった。カバーリョ経済大臣が急遽日本を訪れ、融資を要請し8億ドル（950億円）の緊急融資を実施、当時の貿易規模は4億ドル程度であったので、その2倍もの融資という異例の緊急措置であった。わが国はアルゼンチンの通貨危機を回避する強力な助っ人となった。

- ③ 文化無償協力は、96年までの累計で14件、6.43億ドル。日本は先進国の中で堂々トップクラス。

ブエノスアイレス市立プラネタリウムに対する視聴覚機材の供与、サンマルティン劇場の舞台調光装置の供与、世界3大オペラ劇場の一つであるテアトロ・コロンの音響機材の供与など、多くの文化無償協力で貢献。

- ④ 開発調査事業にも、多くの資金と専門家を提供し、アルゼンチン経済の安定と成長のための調査と提言をしている。代表的なものは「大来レポート」

多方面にわたる開発調査事業を実施しているが、最近の例はアルゼンチンの現状分析を踏まえて選定された4つの重要課題 ((1)輸出拡大と投資振興のための制度的支援、(2)東アジア市場への輸出拡大、(3)中小企業の強化・育成、(4)産業振興と輸出拡大のための運輸インフラの整備) を調査報告し、各地の関係者へのセミナーを開催した。

- ⑤ マルビーナス戦争のとき、欧米各国からアルゼンチンへの経済通商断絶を執拗に迫られたが、わが国はそれに応じないという独自路線を長期間にわたり貫いた。

1982年、桜内外相のもとには欧米各国から圧力が相次いだ。ときのサッチャー首相は日本までやってきて、アルゼンチンとの通商断絶を迫った。しかし、わが国の外務省は明治以来、連綿とつながるアルゼンチンとの友好関係を優先させ、これらの圧力を拒否する強度をもち続けた。マルビーナス（フォークランド）戦争は、結局アルゼンチンの惨敗に終わったが、わが国との信頼、友好関係はさらに深まった。このとき以来、アルゼンチンは欧米諸国との関係を見直し、一方で日本および南米諸国との関係を深化するという政策転換があったといわれている。外交問題の処理にあたり、アルゼンチンと日本はつねに歩調を合わせ、世界でも数少ない盟友（荒船前大使）である。

- ⑥ アルゼンチンの伝統音楽「タンゴ」への世界最大のサポーターは日本であり、多くの根強いファンは、アルゼンチン最大の国外音楽マーケットを構成している。

昨年10月に代々木ホワイト・シアターで開催された「タンゴ・ブエノスアイレス」の観客動員数は延べ12万人。今年は修好100周年を記念して多くの楽団の来日が目白押し。近年、タンゴ・ダンスが僚遠の火のごとく広がり、ブームを迎えている。年配者のみならず、若者のタンゴ・ダンス熱が下支えになっており、タンゴのダンス・パーティはどこの会場も満員の盛況ぶり。

⑦ ブエノスアイレスの街角は美しい花で溢れている。アルゼンチンの花卉栽培における劇的なレベル向上は、日系移住者の研究努力の賜であった。

日系移住者の現地における評判はたいへん高い。正直、勤勉な態度はすべてのアルゼンチン人が強調している。しかし、それに加えさらに評価を高めているのが、アルゼンチンの花卉栽培の質的向上に果たした日系移住者の努力だ。1920年にアルゼンチンに移住した賀集九平さんは、在亜花卉組合長として並々ならぬ研究と努力を注ぐ傍ら、多数の日系移住者を育て、名声を博した。「花の都ブエノスアイレス」は、彼に負うところが大きい。

(当協会専務理事)

### 事務局からのお願い

#### 「個人正会員および個人賛助会員」募集

個人会員制度の概要は次のとおりです。

①☆正会員（定款上総会の構成員。議決権有り） 年会費 ¥ 10,000

☆賛助会員（定款上総会には非構成員。議決権なし。）

その他は原則として正会員に準ずる） 年会費 ¥ 5,000

②会報：当協会の発行する「会報」を年4回お届け（無料）することにより、日ア間の最新情報を政治、経済、文化などに亘って提供します。

③文化活動ないし演奏会などの催物のご案内、割引案内を行い、ご希望の分野にご参加（実費徴収）いただきます。

④定例総会のほか「親睦会」を開催し会員相互および在京大使館との交流を計ります。

アルゼンチンに関心の深いご友人、関係先の方々を、是非ともご勧誘ください。

事務局にご一報あれば加入申込書を、ご本人あて郵送いたします。

⑤郵便局振込口座 00120-6-581381 ⑥第一勧銀本店 普通001-4489193

## 特集2：日本で活躍する日系アルゼンチン人

### 1. 松本ファン アルベルト（当協会員）

松本氏は、ブエノス・アイレス州エスコバール出身で1962年生まれ、（両親は香川県出身）。ブエノス・アイレス大学3年生の時マルビナス紛争の弾雨を潜った唯一の日系二世として有名。

除隊後、サルバドール大学国際関係部卒業、同大学の非常勤講師。エルクロニスタ経済紙のコラムニスト。1990年日本文部省の国費留学生として、筑波大学経営政策科学研究所で研修。1992年からNHK衛星放送ワールドニュース及び東京地方裁判所法廷並びに労働省日系人雇用サービスセンターの通訳。1997年4月横浜国立大学院国際経済法学研究科経済関係法コース労働法専攻の修士号を取得。

1997年8月横浜市に合資会社イデア・ネットワークを設立した。イデアの実現と人と人のネットワークの活用をスローガンとして次の業務を行なっている。出版物の編集、制作及び販売、翻訳、経済や法律情報の検索、収集及び分析等イベントの企画、制作及び実施。最近、「確定申告実用ガイドブック」（本会報15頁参照）を発行し、日本で働く日系人のために尽くしている。

その一方、途上国（主に中南米諸国）の貿易・投資を促進するために政府高官の研修プログラムを実施しているJETROでも特別通訳員として6年前からお手伝いしている。日ア修好100周年を機に、今後は日本とメルコスル諸国との経済関係拡大に貢献したいと張り切っている。

### 2. 谷沢 豪（やざわ ごう）

「彼の演歌は、純粋の日本人よりも強く胸を打つ」1993年、日本コロムビア主催の新人歌手オーディションで最優秀賞を獲得したときの評。現在、日本コロムビア専属歌手、甘いマスク、22才の独身。

1975年、ブエノスアイレス生れ。両親は会津若松出身で、28年前にアルゼンチンに移住し、ブエノスアイレス郊外で花卉栽培に従事しておられる。17才のとき、サルミエントクラブ主催の日系人による歌謡コンテストで優勝、翌年日本人会のラ・プラタクラブ主催の歌謡大会でも優勝し、資金として日本への航空券を手に入れる。

1993年、二度目の訪日のとき日本コロムビア主催の「コロムビア歌謡曲新人歌手オーディション」に最優秀賞を受賞、ついで、NHK新人歌謡コンテストでも決勝に入賞、1995年には日本有線大賞新人賞をとるなど華やかなデビューとともに、若手歌手のスターとして活躍中。

ブエノスには彼の後援会があり、近く日ア修好100周年を記念して「里がえり公演」を8月に企画している。

## 特別記事：いま何故アルゼンチンなのか

藤本芳男

日本とアルゼンチンとが修好通商航海条約を署名したのが、丁度百年前の1898年（明治31年）2月3日。それから百年の間に、日本は近代国家として力をつけ、アルゼンチンは農牧大国として世界に食糧を送った。アルゼンチンが新大陸に欧米からの移民を受け入れながら安定した発展を遂げていた時に日本はアジアに覇権を求めて浮沈を味わった。この間にも両国間の友好の絆は一貫して続いた。地球の反対側にある両国がこのように友情を保って来れたのは世界の歴史でも珍しいことではないか。これを奇跡というならば、その奇跡は、アルゼンチン側の包容力によるところが大きい。

日露海戦のためにアルゼンチン側が艦艇を提供してくれた話とか、ペロン大統領夫人が海路はるばる食糧を届けてくれた話はよく知られているが、それ以外にもアルゼンチンの寛容と対日配慮を示すエピソードはたくさんある。日本の外交当局が一番感謝しているのは、多面的な外交舞台でアルゼンチンが絶えず日本の立場を支持してくれたことである。

アルゼンチンが過去百年でもっとも輝いたときが2回ある。ひとつは今世紀前半、世界に対し食糧供給国として活躍したとき、もうひとつは、「失われた80年」から立ち直って経済の安定化に成功したときである。経済の安定化に成功したのは、丁度、メネム大統領の治世にあたる。

筆者は、丁度メネム政権発足の時にブエノスアイレスに着任して、経済改革のプロセスをはじめから見てきたので、ほぼ十年たった現在、アルゼンチンが自由開放経済のチャンピオンとして時代の流れをリードしているのを見ると、感慨を禁じえない。

厳格な兌換法を梃にインフレを抑え、大胆な規制緩和や民営化で生産性を高め90年代の成長率を平均50%以上に保った。ペロン流の国家主導型経済を変えてしまった。メネムはペロニズムに支えられた大統領であるだけに、かえってペロニスタ労働者達にたいして、強い指導力を発揮することができた。これが、構造改革に成功した秘訣である。1995年のテキラ・ショックの際にもアルゼンチンは兌換法を堅持しながら、確固とした政策運用により、影響を最小限にとどめることができた。

こうした対外自由開放体制のもとで、アルゼンチンは農牧資源、流通インフラ、エネルギー、鉱物、林業など多くの分野で外国からの投資を歓迎している。そして、アジアをふくむ世界中の主要国が早いもの勝ちとばかり走りだしている。欧州は勿論、ジョージ・ソロスも、韓国も、中国も。中南米にはチリやメキシコのように、すでに多くの外国投資が動いているが、アルゼンチンはまだ殆ど手つかずという点がユニークだ。例えば、鉱業。アンデス山脈の向こう側、つまりチリ側は、銅を主として掘り尽

くされているが、アルゼンチン側は全く手がついていない状況で、金、銀、銅、レアメタル何が出てくるか分らないという。

これだけの資源大国が自由開放体制を整えて外からの投資をまっている。しかも親日国ときている。歴史の自然の成り行きが提供してくれたこのみごとな投資環境をみすみす他の国に渡してしまうことはあるまい。アルゼンチンが過去百年にわたって示してくれた友情に応えることになるならば尚更である。アルゼンチンへのこのような投資機会はあと3~4年といわれている。あまり時間がない。日ア修好百年のこの機会にアルゼンチンへの未来展望をいま建て直すべきではないか。

(当協会副会長、元駐ア大使)

## アルゼンチン政治・経済速報

小林 晋一郎

### ◎政治・経済

- ソラ農水産庁長官の発表によると、97~98年度の穀物・油性種子の総生産高は前年度を16.9%上回る史上最高の6,300万トンと見込まれている。生産増加は作付け面積（現在は2,600万ヘクタールで前年度を少し下回る）の増大によるのではなく、化学肥料や除草剤の使用、種子の改良などによる生産性の向上による。
- 3月18日、中銀は地場中位行の民間商業銀行パトリシオ銀行に対し、30日間の営業停止命令を下した。理由は経営不安説から大量の預金流失による流動性不足。中銀はかねてから4,000万ドルの増資を要求していたが、全額増資は実現しなかった。昨年、イスス系の金融会社ソシメルとの資本参加についての交渉があったが実らなかった。中銀は同行を売却する方針であると伝えられている。
- 99年1月施行での大幅な税制改革法案が国会に提出され審議されている。この法案は直接税の比率を下げ間接税の比率を引き上げ税負担の公平化をはかることを目的としている。その主たる内容は、法人税の引き下げ、タバコ・アルコール、清涼飲料に対する国内税の引き上げ、食肉・野菜・果物に対する付加価値税の引き下げ、高価な乗用車に対する課税強化、資産税の導入、公共交通機関・新聞・医療機関に対する付加価値税の廃止、銀行融資に対する付加価値税の引き下げなどである。
- 國際通貨基金（IMF）は2月、アルゼンチンに対する期間3年の拡大信用枠（Extended Fund Facility）28億ドルの供与を承認した。この融資実行の前提条件となるアルゼンチン政府により公表されたIMF宛のインテンション・レターの主な内容は次の通り（98年のガイドライン）。

経常収支の赤字はGDPの3.8%以下、貿易収支の赤字は50億ドル以下、財政赤字は35億ペソ以下、インフレ目標は2%以下、労働法の改革を年央までに実現

する、税制改革法案を6月末までに国会に提出する。

- 97年の輸出は253億6,000万ドル、輸入は302億5,200万ドルで貿易収支は48億9,200万ドルの赤字となった。地域別の貿易収支を見るとメルコスル、チリ、東南アジアとは黒字、NAFTA、EU、日本、中国とは赤字を記録している。輸出は一次産品が前年比3%の減となつたが、農産加工品が7%増加となつた。輸入は資本財が37%、中間財が19%、資本財に係る部品類が31%とそれぞれ増加している。
- 今まで政府が発行していた身分証明書の発行業務を民間に委託することになり国際入札の結果、シーメンスが落札した。
- 33空港の一括民営化の国際入札の結果、イタリア、米国などの国際コンソーシアムである「エロプエルト・アルヘンティーナ2000」(AA2000)が落札、経済大臣、国防大臣、官房長官、観光大臣の出席をえて調印式が2月行われた。AA2000は2000年から2030年の間、33空港の経営権を1億7,100万ドルで入手した。

かねてからの市内空港とエセイサ国際空港の問題を解決するためAA2000は早速、政府に対しラプラタ河にオフショア滑走路を建設し、現在の市内空港でチェックインしモノレールで連絡する案を提出した。

- アルゼンチン自工会は、97年の国内自動車生産台数は前年比42.4%増の44万5,969台となつたと発表した。この生産台数は過去最高を記録した94年に比較しても9.1%多く、史上最高を記録した。この生産台数の約5割はブラジル向けに輸出された。
- 中銀は96年以降、銀行危機に対応するために海外主要銀行との間でスタンド・バイ協定を締結していたが、97年に従来の61億ドルから74億ドルまで拡大し国内の銀行に対する緊急時の流動性支援機能を強化した。中銀はスタンド・バイの金額を全国預金の1割を目処とし、98年にさらに5億ドルの増額を予定している。
- アルゼンチン・チリ両国の大統領は97年12月29日、アルゼンチン・チリ鉱業統合・補完協定と電力統合議定書を調印した。この協定はアルゼンチン・チリ両国のアンデス山脈国境の鉱業開発に関し、両国の資本・技術・労働力の移動を大幅に緩和する他、この地域に投資する外国資本に対する二重課税の防止措置も含まれている。アルゼンチンにとって、この協定の成立により鉱物資源の輸出港としてチリの港湾施設の利用が可能となり輸送コストの大幅削減となる。電力統合に関してはチリの北部鉱山開発の促進に伴う電力需要増大に対応、アルゼンチンから電力の供給を受けることを認めている。

(東銀リサーチ インターナショナル研究理事)

## 博物学者、文学作家ウイリアム・ハドソンと日本との関係 —ハドソン家とシンヤ家—

佐 藤 幸 正

### 3 ヴィオレッタのその後

ヴィオレッタは、1915年母の死に伴い、シンヤ家における唯一のハドソン家の血縁者となった。前述の資料からわかるように、彼女には異母弟妹たちがいるけれども、彼等はその母親同様、ハドソン家の血縁者ではない。従って、ここではハドソン及びハドソン家との関連に重点を置いていることから、シンヤ家のなかでもヴィオレッタに論点を絞ることにする。

幼くして母を失ったヴィオレッタが、その後どのようにして育てられたかは定かではないが、「榛葉ビオレータ女史による講演」を読むと、彼女は幼い頃、父や母から日本のことを見かされて育ったことがわかる。この講演は、「第5回亜国－日本94」と銘打った亜日協会主催による行事の一端として、1994年8月19日、パレルモ農政協会展示場で行なわれたもので、テーマは「日本との三つの出会い」であった。この講演から、幸せだった幼児期の家庭生活を窺うことができる。

「あなたが見た日本について話してほしい」そう頼まれて、何を話したらよいのか考えましたところ、私自身に起った3回にわたる日本との出会いがより現実的ではないかと思いつきました。父の祖国であり、それゆえ、私にとっても第二の故郷になりうる日本についてお話しします。

私にとって日本との最初の接近は、とても私的で口述的、そして絵画的なものでした。幼い頃のあの時代は、思い出すだけで美しいものです。母が遠く“Daddy's home”（おとうさんの家）で見たことを話してくれた時のことです。

そうした日々は、私が生れてからたったの5年間しか続きませんでした。しかし、今度は父の膝の上で、時には父のそばで、クッションの上にチョコーンと座りながら、将軍達の武勲やサムライの話、生れた故郷の思い出話などに聞き入ったり、ショーケースに飾ってある小物を見せてもらったり、家の中はどんなふうだったとか、武士たちはどんな格好をしていたのかとか、父は、それは色々なお話を聞かせてくれました。彩り鮮やかでたくさんの思い出が詰まった写真アルバムを急いで取りに行った時のこと。まるで、ついさっきのことのように思い出されます。

引用文中の「そうした日々は、私が生れてからたったの5年しかつづきませんでした」とあるのは、5歳の時母が死んだことを意味している。

さて、日本との三つの出会いのなかで、最初の出会いは幼児期に両親が語って聞

かせた日本であった。母が見た父の家のことを、あるいは父が口述する故郷の思い出を、彼女は心象風景として捉えていたのである。第2回目の日本との出会いは1939年で、丁度満州事変の最中であった。

1939年の話です。そして私たちは、「満州事変の最中の日本に到着しました。既に、軍事民族主義が社会を支配していた頃、なにか違う世界に来てしまったような印象さえ受けました。

私達5人の教育者グループで、日本における初等及び中等教育のメソッドを視察するのが訪問の目的でした。

「あるぜんちな丸」は、処女航海を終えて横浜港に到着し、私達はそこから汽車に乗り継いで東京に向かおうとしていました。

戦争を知らない平和の国アルゼンチンからやって来た私達にとって、大変ショッキングな光景に出くわしたのはそのときです。列車が駅に入ろうとし、席をたって「やっと着いたな」と汽車を降りる準備をしかかった時、席を立たずにじっとしているように命じられました。同じプラットホームに、向い側の線路から他の汽車が駅に入ろうとしていたからです。悲しそうな表情、泣き崩れる女性、たくさんの人びとが見えました。それは、満州から兵士達の亡骸を乗せた列車だったのです。ストイックで無口な日本人たちが、苦情を訴えるでも、叫び散らすわけでもなく、痛恨の表情に打ちひしがれていました。ハンカチで顔を覆い、うずくまってすすり泣く女性たちの姿も見えました。

やがて、将校らしき人物が列車から降り、一人一人の名前を読み上げはじめました。すると、遺族らしき者が一步前に出て、深くお辞儀をしながら小さな箱を受け取り、遺族の一団と去っていく。そんな光景が繰り返されました。30分ほどのことでしたが、とても長い時間に感じられ、私達は一言も口にできないまま、日本に到着した喜び、早く東京に着きたいという強い願いを悔いる思いで一杯になりました。

東京駅に着いた途端に、戦死者の遺骨箱を受け取る遺族達の悲しい場面に遭遇する。満州事変から太平洋戦争に突入して行ったあの暗い、悲惨な時代を予兆するかのような描写である。

日本に着いた翌日、目的の授業参観に出かけるが、「空爆に備えての非常訓練」のため、参観中、生徒達は一斉に外へ出てしまう場面を目の当たりにする。

街に出ると、そこには着物姿の女性を想像していたのと異なり、「洋服」を着込んだ女性で溢れていた。地方にも足を延ばし、次のように描写している。「公園と寺院が美しい奈良。人力車での散策は少なからず気が引けました。人が人を乗せた車を押していくなんて！」と。奈良から京都、名古屋、大阪そして下関へと歩を進め、更にポート・アーサー、ソウル、満州、奉天へと向かった。どこへ行っても人びとか

ら厚い歓待を受けたのである。この間、父の姉妹が会いに来てくれたことや、従兄弟たちや叔父にも会ったことを伝えている。

1993年4月、ヴィオレッタはサントリー財団から、ギジェルモ・エンリケ・ハドソン（ウイリアム・ヘンリーア・ハドソン）自然文化公園に対する寄付を受けるため、3回目の日本訪問を果たす。この時の印象を次のように述べている。

さて、その3回目の日本遭遇。とても素晴らしいです。インペリアルな街は、今ではすっかり整然とディシプリンの巨大都市へと変貌を遂げていました。そこは、自動車で溢れ返り、スピードは出せないものの、交通はスムーズに流れ、事故はない。見上げると、高層ビルの数々。外から透き通って見えるエレベーターのスピードの速さ。最先端技術が伝統美と質素な温もりと出会う場所。ごちゃごちゃだけど、可愛く並べられた食事がうれしいレストラン。色々な街に出かけ、どこでも驚かされたのですが、その一方で、その品格が印象的だった京都の町にノスタルジーを感じました。今では近代的になりましたが、どこかに以前の面影があり、ほっとさせられたのも事実です。

ここには満州事変中に訪問した時のような、ショッキングな緊迫感はない。彼女は巨大化し、スピード化した最先端技術を駆使する大都会を眼前にし、驚嘆する。しかし、その近代化に驚嘆する一方で、古都にノスタルジーや以前の面影を感じ、安堵する。岡山を訪れた時には、のんびりとして、自然に対する尊敬を失っていない人たちを、称賛するのである。人間と自然との調和や、共生を求め続けたハドソンの精神を、彼女のなかに見出すことができる。（つづく）

（弘前学院大学教授）

### 第3回ペヘレイ・ツアーハへのご案内 一日ア修好100周年記念事業

日 時：5月16日（土）

集合場所：JR高崎線 熊谷駅 南口階段下 11：45

日 程：11：50 熊谷駅 発（借り上げバス 定員50名）

12：05 櫻安田 ペヘレイ養殖場 着

見学後、ペヘレイの寿司、天ぷら、アサード、ワイン

昼食後 フォルクローレ（高野太郎氏、谷沢豪氏等）演奏予定

15：35 同養殖場 発（借り上げバス）

15：50 熊谷駅 着（解散）

会 費：当協会員 4,000円、非会員 5,000円

（昼食、飲み物、バス代、税込、当日バスの中で申し受けます）

申し込み：FAX または電話で当協会事務局まで。

締切日：5月11日（月）

JR高崎線 時刻表次の通り：(片道電車賃は、1,110円)

下り 列車番号 859	上り列車番号 940
上野 発 10:40	熊谷 発 16:11
赤羽 発 10:50	大宮 発 16:48
大宮 発 11:05	赤羽 発 17:02
熊谷駅着 11:42	上野 着 17:13

今回のペヘレイ養殖場の見学等は、当協会の監事である安田直弘代表取締役のご好意によるものです。（註：ペヘレイ（Pejerrey）はアルゼンチン原産のサヨリに似た高級魚。詳細は既報（第8号及び第16号）ご参照）

### 文化行事

#### ◎ EL TANGO DE LA TARDE (午後のタンゴ・ダンスパーティー)

日 時：5月4日（月祝） 14:00～17:30

会 場：横浜プリンスホテル 桜の間

出 演：オルケスタ CHE TANGO

入場料：10,000円（1ドリンク・ビュッフェ付、当協会員9,000円）

交 通：JR京浜東北線（根岸線）磯子駅下車、バス停6番よりシャトルバス運行

主 催：連絡先：ラ・カデンシア 045-461-6020（原田裕子、当協会員）

#### □銀盤の魔術師エンリケ・クッチーニのタンゴ演奏会

日 時：5月15日（金） 14:00 及び 18:30 大宮市民会館

5月30日（土） " " 豊島公会堂

6月13日（土） " " 大田区民センター

6月20日（土） " " 世田谷区民会館

出 演：エンリケ・クッチーニとリベルトリオ四重奏団

入場料：各会場とも指定席4,000円、自由席3,000円（当協会員は各500円引）

主 催：連絡先：国際文化交流協会 3726-4950（原田直二 当協会員）

#### □国立アルゼンチン交響楽団「ピアソラとラテンの饗宴」

日 時：5月25日（月曜、革命記念日） 19:00 開演

会 場：オーチャードホール（渋谷文化村）

入場料：S席12,000円、A席10,000円、B席8,000円（当協会員は1割引）

出 演：指揮ペドロ・イグナチオ・カルデロン、ピアノ マルタ・アルゲリッチ、  
バンドネオン ダニエル・ピネーリ 他  
主 催：アルゼンチン共和国大使館、ソティエ音楽工房  
後 援：(社) 日本アルゼンチン協会、日ア修好 100周年記念事業組織委員会  
連絡先：ソティエ音楽工房 03-3470-2727 (西脇)

### ◎華麗なるタンゴ～池田光夫 タンゴ演奏会

日 時：6月5日（金） 18:30 開演  
会 場：狛江エコルマホール (03-3430-4110、小田急線 犬江駅前)  
出 演：演奏 池田光夫とロス・アミーゴス 歌 阿保郁夫  
ダンス シンゴ&アスカ 司会 志麻由起夫 ゲスト 戸川昌子  
入場料：4,000円（当協会員3,600円、税込、全指定席）  
主 催：国際ソロプチミスト 東京－狛江（3周年記念チャリティー）  
連絡先：03-3489-2519（池田光夫 当協会員）

### □第2回河口湖ユパンキ祭り（フォルクローレ・コンサート）

日 時：6月7日（日） 11:00～18:00  
場 所：山梨県河口湖町 円通寺・円形劇場  
出 演：井上てつひこ＆黒猫座等、グルーポ・カンデラリア・高野太郎 他  
会 費：6,000円（コンサート代、昼食アサード（焼肉）代込み）  
交 通：中央高速バス 新宿西口より1時間半（片道料金1,700円）  
主 催：河口湖ユパンキ祭実行委員会 後援：アルゼンチン大使館  
連絡先：円通寺 0555-72-0279、カンデラリア 03-3405-4344  
オフィス高野 03-3582-4658（高野太郎 当協会員）

### ◎ミルバ・タンゴ・リサイタル

日 時：6月11日（木）、12日（金）、13日（土）、14日（日）  
19:00、 19:00 17:00、 15:00  
会 場：東京国際フォーラム ホールC  
出 演：歌 ミルバ、演奏 ダニエル・ビネリ五重奏団  
入場料：S席 8,500円、A席 7,000円、B席 5,400円、C席 3,600円  
(当協会員の1割引き値段です)  
交 通：JR有楽町駅 国際フォーラム出口1分、地下鉄日比谷駅 A2出口4分  
連絡先：主催：ジャパン・アーツ 03-3499-9670（堀、佐野）

## □フリオ・ボッカ&バレエ・アルヘンティノ

日 時：6月29日（月）、30日（火）、7月4日（土）、5日（日）

18:30、 18:30、 18:00、 15:00

会 場：東京国際フォーラム ホールC

出 演：バレエ フリオ・ボッカ、演奏 アテイオ・スタンボーネ & タンゴ・アンサンブル

入場料：S席 11,700円、 A席 9,000円、 B席 6,300円、 C席 4,500円、

D席 3,600円（当協会員の1割り引き値段です）

交 通：JR有楽町駅 国際フォーラム出口1分、地下鉄日比谷駅 A2出口4分

主 催：ジャパン・アーツ、後援：アルゼンチン大使館

連絡先：ジャパン・アーツ 03-3499-9670（堀、佐野）

## □タンゴ・ヴィーナス

日 時：6月27日（土） 15:00 及び 18:30 開演

会 場：新宿文化センター 03-3350-1141

出 演：ダンス6組（12名） シルビア&ジュニオール他

演奏：エドガルド・アーニャ & プエノアイレス・セステート、歌カルラ・イバニエス

入場料：S席 6,300円（当協会員 5,000円）、A席 5,250円（当協会員 4,000円）

交 通：地下鉄丸ノ内線、都営新宿線 新宿三丁目駅下車 C7番出口徒歩5分

主 催：連絡先：光藍社 03-3943-7531（金子）

## □アルゼンチン・ミュージック・フェスティバル

### 「タンゴ・シーン」

日時・会場：8月4日（火）東京新宿厚生年金会館大ホール 19:00開演

5日（水）大阪厚生年金会館中ホール 19:00開演

出 演：スサーナ・リナルディ・グループ、イネス・リナルディ

### 「folklore・シーン」

日時・会場：8月3日（月）東京新宿厚生年金会館大ホール 19:00開演

5日（水）京都会館第2ホール 19:00開演

出 演：リト・ビターレ・トリオ、フリア・センコ、トリオ・カンタウトーレス

### 「東京公演」

入場料：前売 S席 7,000円（当協会員前売 5,000円）、A席 5,000円

交 通：地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅 下車徒歩5分

主 催：日本ラテンアメリカ文化交流協会（帆足まり子会長（当協会員））

後 援：アルゼンチン共和国大使館、（社）日本アルゼンチン協会等

連絡先：日本ラテンアメリカ文化交流協会 03-3338-3864（渡部、当協会員）

□「ミサ・クリオージャ」アルゼンチン・フォルクローレの重鎮

アリエル・ラミーレス本邦初演

日 時：8月7日（金） 19:00 開演

会 場：サントリー 大ホール

演 奏：総指揮／ピアノ アリエル・ラミーレス＆楽団、歌 バエロ・ドリゲス、

T.F.C合唱団（混成120名）、指揮 辻 正行

第1部：ミサ・クリオージャ、アルゼンチンのクリスマス

世界中で喝采を受けており、大地から沸きあがるフォルクローレのリズムと格調あるミサ曲大合唱の融合は最高の評価がなされている。

第2部：コンドルは飛んでゆく、ツクマンの月、花まつり など

入場料：S席10,000円、A席8,500円、B席7,000円、C席5,000円

（当協会員は1割引き）

交 通：銀座線、南北線 溜池山王駅13番出口

主 催：連絡先：ミサ・クリオージャ事務局 03-3271-2170（マトバ当協会員）

（註：□印は日本アルゼンチン修好100周年記念事業）

お 知 ら せ

◎「確定申告実用ガイドブック」（スペイン語及びポルトガル語版）

松本 フアン アルベルト（当協会員）合資会社イデアネットワーク代表が、  
DDECLARACION DEL IMPUESTO A LA RENTAを出版しましたので、ご関  
心の向きは下記へご連絡願います（当協会に見本あります）。

定価2,200円を会員特価1,400円（送料込）、郵便振替00220-0-86013、  
TEL 045-544-0192、FAX 045-544-0079

◎第39回海外日系人大会の開催

日 時：5月6日（水）10:00～17:00、7日（木）10:00～12:00

会 場：憲政記念館（千代田区永田町1-1-1）

参加費：8,000円（留学生4,000円）

交 通：地下鉄有楽町線、半蔵門線、永田町駅下車 2番出口徒歩4分

主 催：財団法人 海外日系人協会 後援：外務省、東京都、経団連等

◎新、旧駐アルゼンチン両大使歓送迎パーティ

3月31日夕、霞が関三井クラブにおいて荒船清彦前大使と木島輝夫新大使の歓送  
迎会パーティを当協会斎藤会長が主催した。近藤鎮雄副会長ほか、理事及び法人会

員、個人正会員、外務省中南米局スタッフ、サンチス・ア国大使夫妻ほか大使館員など60余名が出席し盛会であった。

なお、宴席で提供されたアルゼンチン・ワイン「コント・ド・バルモン」(白・赤)は川重商事(株)からのご寄贈である。

#### ◎アルゼンチン鉱業（多様な投資方法）セミナー

日 時：4月27日（月） 14：30～17：30

場 所：富国生命ビル 28階会議室（千代田区内幸町2-2-2）

講 師：アリエト・グアダニ通商鉱工業長官、メイラン鉱業次官 他

会 費：無料

主 催：アルゼンチン共和国大使館、米州開発銀行駐日事務所

交 通：JR新橋駅、銀座線新橋駅日比谷口5分、千代田線、日比谷線霞が関駅C4  
出口3分

申込先：米州開発銀行駐日事務所 FAX 03-3591-0641

#### ◎ビデオ「エバ・ペロン～エビータ」の真実（4月24日発売）

（1966年／アルゼンチン映画／カラー／115分／日本語字幕入）

内 容：アルゼンチン映画界の最高スタッフが制作した本作品は、権力闘争、軍事クーデターという激動のアルゼンチンを背景に、ペロン大統領と共に、貧しい労働者階級の為の救済に献身し、弱冠33才で他界したエバ・ペロン（1919～52）の最後の2年間を史実にそって描いている。

会員特価：3,500円（税、送料込、郵便書留にて「エバ・ペロン」係と明記）

連絡先：（株）ジェイ・ブイ・ディー 03-3409-9920（藤川 当協会員）

〒150-0002 渋谷区渋谷1-5-5- ローゼ渋谷ビル

#### ◎三井物産、元アルゼンチン修業生CDを発行

1950年後半、現地で仕事の余暇に活躍した海外修業生のボーカル・グループ“LOS TRES BIGOTITOS”が、「アルゼンチン修業生たちの青春譜」としてCDを発行し、関係者に配布している。リーダー山田早苗氏のソロほか三部構成全17曲に、現在の副社長佐藤和夫ご夫妻など多士才々の回想座談会を加えた見事な作品。彼らの第二の故郷アルゼンチンへの頌歌。

#### ◎長田小学校100周年記念「友好の日」

来る6月6日（土）茨城県境町の長田小学校で、今年も全校生徒による「アルゼンチン友好の日」が開催される。この行事はわが国でもユニークなもので、式典の最後に全生徒によるスペイン語のカミニート斉唱はとくに有名。今年は100周年記念

でもあり、アルゼンチン大使および大使館スタッフに加え、大使夫人ポーリー・フェルマンさんのピアノ演奏も予定されている。参加希望の方は当協会へ。

### ◎総会の開催について

(社)日本アルゼンチン協会の第42回総会は来る5月21日(木)午後2時30分より、当協会の日比谷ビル(4階ダイビル(株)会議室)で開催予定です。なお、役員、法人会員及び個人正会員各位には別途ご案内申し上げます。

### ◎会費の納入について

平成10年度の会費(法人会費、個人正会員費及び賛助会員費)につきまして、夫々請求書を会員各位宛に送付致しますので、何卒納入宜しくお願い申し上げます。

## 人 事 往 来

(平成10年1月～3月)

### 1. 来 日

玉置昭雄 亜日修好100周年記念実行委員会第二副委員長 1月9日～2月6日  
アントニオ・ロドリゲス アルゼンチン・オリンピック委員会委員長  
(長野冬期五輪) 2月7日～21日  
ノエミ・ラグレッカ 在米金融代表(ラテン・アメリカ・セミナー) 2月17日  
マリオ・アルベルト・ウイグルス 元エネルギー長官  
(メルコスール・エネルギーセミナー) 2月24日  
水川 淳 セントロ日系顧問(JICAシンポジューム) 3月3日～16日  
ギジェルモ・エドワルド・ウゲス チュプット州鉱業地質局長  
(アルゼンチン鉱業投資セミナー) 3月12日

### 2. 訪 ア

松下 洋 神戸大学大学院国際協力研究科教授  
(日ア修好100周年記念シンポジウム) 3月21日～27日

### 3. 外務省人事異動

荒船 清彦 前駐アルゼンチン大使 3月25日 帰朝  
木島 輝夫 新 " (当協会員) 4月 5日 赴任  
河西 靖彦 新 " 領事 3月15日 着任  
中南米第一課アルゼンチン担当 萩原孝裕事務官(青山健郎事務官の後任)  
4月 1日 配属

## あとがき

次号(21号)は7月中旬予定です。会員各位の投稿、ご意見をお待ちしています。